

# デザイン教育に活かすデザイン および造形の実践的研究

芸術学部  
生活環境デザイン学科  
教授

栗田 融



## 研究シーズの紹介

本研究は、具体的にデザインを行うことや造形作品を制作し  
展覧会へ出品することを実践して得た知見を造形デザイン  
教育(主に空間演出デザイン)に活かすことを目的にしている。  
デザインは社会との関係が不可欠であることから、実践的な  
活動を通じて直面する課題はリアルであり、その解決を図る  
経験は、デザイン教育にとって有効である。また、造形デザイ

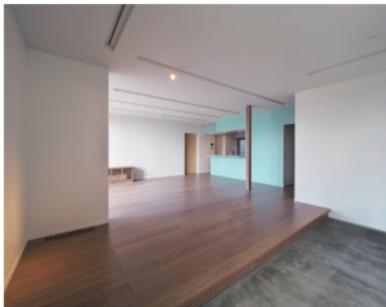
ンを学ぶうえで必要となる基礎造形の教育においては、教育  
者自身が造形経験を積むことによって、よりの確なアドバイス  
が与えられると考えている。さらに、地域や社会から造形体  
験や空間演出に関する相談を受けた場合、そこに学生を参  
画させることで、相談者や学生それぞれにとってメリットを生  
む効果も実感している。



### 空間演出技術 造形体験

- あらゆる施設(空間)の演出が可能です。
- 造形ワークショップの開催ができます。
- 造形教育に関する教材開発ができます。

### 空間デザインの実践



### 造形作品の制作・展覧会出品



デザイン教育への還元  
施設(空間)の演出  
造形ワークショップ  
造形教育の教材開発

## 期待される活用シーン

- 現有施設の空間演出をしたい  
がわからない
- 施設利用者に造形体験の機  
会を提供したい



これまでの実績をもとに、季節の  
空間演出を計画したり、造形ワー  
クショップの運営をお手伝いでき  
ます。



- 造形教育に関する教材開発  
をしたい
- 生徒や子供に造形体験の機  
会を与えたい



これまでの実績をもとに、造形教  
育における教材開発や造形ワー  
クショップ開催のお手伝いでき  
ます。



### その他の研究テーマ

- ・仮設空間に関する研究
- ・展覧会を通じた交流に関する研究